

(別紙)

第2次審査応募様式

No.3 (1次No.16) (事務局用)

教育改善提案計画調書

所属学科名 (または所属課又は団体名) 法人事務局企画課

応募者氏名(代表者氏名) 山崎 領

(注) 枠は適宜移動して下さい。ただし全体でA4で2枚までとします。
記述は12ポイントでお願いします。

1. 提案名	鈴鹿医療科学大学の素顔を見に行こう！
2. 目的と効果など	<p>高校生に、本学で通常通り開講されている科目を、在学生と一緒に受講してもらい、鈴鹿医療科学大学の普段の姿を体験してもらおう。目的と効果は以下の通り。</p> <p>①退学率の低下</p> <p>特定の専門職を目指す本学のような性質の大学は、入学時点で卒業後の職業が決まることになり、進路変更は一部学科を除くと実質的に不可能である。入学後のミスマッチを防止することは、他大学より真剣になって取り組む必要がある。在学生の雰囲気や大学の普段の様子を体験してもらうことにより、「イメージしていた内容と違った」「こんなはずではなかった」といった入学後のミスマッチを防ぎ、退学率の低下に繋がることが期待される。</p> <p>②本学への進学意欲の上昇</p> <p>過去、同様の取り組みをした大学のアンケート結果で、参加した大学への進学意欲が高まるとの報告事例がある。</p> <p>③高大接続担当教員の負担軽減</p> <p>高大接続校の生徒を対象とした特別プログラムでは、高校生向けのプログラムの作成及び授業の実施で、担当教員に大きな負担をかけている。段階的に特別プログラムから本プログラムへの移行が進めば、担当教員の負担軽減に繋がる。</p>